

2007年（平成19年）5月20日（日曜日）

心カテ件数 2.6倍に増加

信大病院 心臓血管病センター化で

信大病院が2005年
度、循環器領域で内科系
・外科系の一体診療を目
指し先端心臓血管病セン
ター（ACVC）を設置

したことで、心臓カテ
テル治療や心臓血管手術
などが飛躍的に増加して
いることが分かった。
心臓カテテル治療件
数は、センター設置前の
04年度に105件だった
のが、06年には272件

と、およそ2・6倍に増
えた。不整脈アブレーシ
ョン件数は51件から83件
に、63%増。心臓血管手
術も201件から316
件に、57%増え、内科的
処置、外科的手術の双方
が大幅に増えた。

池田宇一センター長
（循環器内科科長、大学
院臓器発生制御医学講座
教授）は、「循環器内科
では『世界をリードする

ACVCの医師数は現
在、循環器内科16人、心
臓血管外科7人、小児科
4人の計27人体制。今年
度からは、虚血や不整
脈、心不全などにより専
門特化したチームをグル
ープ化して診療にあたっ
ている。池田センター長
は「若い医師をこの中で
ローテートさせ、実力を
つけた上で県内の関連病
院に派遣する。県内の循
環器治療のさらなるレベ
ルアップに寄与できる」
と期待を寄せている。